

# 2025 年度 塩野取水場外 機械・電気設備更新設計業務

## 特記仕様書

長野県須坂市

# 2025 年度 塩野取水場外 機械・電気設備更新設計業務 特記仕様書

## 第1章 総 則

1.1 委 託 名： 2025 年度 塩野浄水場機械・電気設備更新設計業務

1.2 委託場所： 須坂市大字塩野（塩野町）

1.3 委託期間： 契約の日から 2026 年 2 月 27 日まで

### 1.4 本仕様書の適用

本仕様書は、須坂市が委託する「2025 年度 塩野取水場外 機械・電気設備更新設計業務(以下「本業務」という)」に適用するものである。

### 1.5 業務の目的

本業務は須坂市塩野取水場等の機械・電気設備の更新に伴い、設計計画、機能計算、数量計算、設計図の作成、審査を行うことを目的とする。

### 1.6 管理技術者および担当技術者

管理技術者及び照査技術者は、技術士（上下水道部門：上水道及び工業用水道又は、総合技術管理部門：上水道一般並びに上水道及び工業用水道）、RCCM（上下水道部門：上水道及び工業用水道）の資格を有する者を配置すること。

但し、管理技術者と照査技術者を兼務してはならない。

また会社実績として、長野県において過去 5 年以内に地方公共団体発注による浄水場内の機械・電気設備の実施設計の実績を有することとし、テクリス登録の写し又は契約書の写しを添付すること。

### 1.7 成果品の帰属

成果品の管理及び帰属はすべて発注者に属し、受注者は成果品または資料等を第三者に公表してはならない。また、公表の必要が生じた場合は、発注者の承認があった場合に限り行うことができる。

### 1.8 その他

受託者は、品質保持と個人情報保護の観点から ISO9001（品質マネジメントシステム）認証取得、及び ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）又は JISQ15001（プライバシーマーク）の認証取得をしているものとする。

## 第2章 業務内容

### 2.1 設計協議

設計協議は原則、初回、終回及び中間とし、必要に応じて随時行うこととする。

#### (1) 初回打合せ

業務内容及び貸与資料等を確認する。

#### (2) 中間打合わせ

中間報告及び作業中に発生する諸条件の処理に関する確認を行う。

至急協議等が必要の場合、連絡後2時間以内に上下水道課（塩野浄水場を含む）又は現場に、管理技術者又は担当技術者が集合し、現場立ち会い及び協議が可能な体制をとることとする。

#### (3) 最終打合せ

総括説明及び成果品納入、検収の立会を行う。

また納品後も施工業者から説明を求められて協議が必要になった場合、速やかに対応すること。その際に掛かる費用は受託者負担とする。

### 2.2 既存資料収集整理

必要な資料は、発注者から貸与するものとするが、受託者は監督職員の指示を受け直接保管場所へ資料収集に出向くことがある。貸与後の保管場所については、長野県以外での保管を禁じ個人情報保護法に沿った管理を行い破損や紛失がないように十分注意すること。借用期間中であっても、一時的に返納を求められた書類は3日以内に返納すること。また、資料の借用、返納は受託者が自ら行い民間の運送会社は利用しないこと。

### 2.3 業務概要

本業務の概要は次のとおりである。

#### (1) 業務項目

##### 1) 計装設備の詳細設計

対象施設は、以下のとおりとする。

##### ① 塩野浄水場

・排水池 機械・電気	1 式
・排泥池 機械・電気	1 式
・薬注施設(PAC・苛性ソーダ・次亜塩素) 機械・電気	1 式
・中央監視操作施設(機能増設)	

##### ② 取水場

・導水ポンプ盤	1 式
・動力操作盤	1 式
・受配電施設	1 式
・中央監視操作施設	1 式

その他詳細に関しては別添図面   を更新設計の対象とする

#### 1-1) 設計計画

受注者は、業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、監督職員に提出する。

### 1-2)現地調査

現地を踏査し、貸与資料等に基づき、状況を十分に把握する。

### 1-3)計算書の作成

受注者は、発注者が提供した資料、又は受注者の調査した項目について、整理し、確認又は計画を行った後、次の図書を作成する。

なお、確認された基本設計図書のうち詳細設計で利用できるものは、最使用を妨げない。

#### 1-3-1)電気関係

- ① 設備容量計算書（能力、台数、出力等）
- ② 運転操作概要書
- ③ 主要機器重量及び建築荷重設定表

#### 1-3-2)機械関係

- ① 設備容量計算書
- ② 機器リスト、荷重設定表

### 1-4)設計図面の作成

受注者は、次に示す詳細設計図を作成する。また、設計図を工事発注用に修正した図面も合わせて作成する。

#### 1-4-1)電気関係

- ① 構内一般平面図
- ② 主要機器外形（参考寸法）
- ③ 機能概略説明図（計装フローシート又は計装フロー概念図、全体システム構成）
- ④ 主要配線、配管系統図
- ⑤ 配線、配管布設図（ラック、ダクト、ピット）
- ⑥ 主要機器配置図（⑤との共用含む）

#### 1-4-2)機械関係

- ① フローシート
- ② 配置配管図
- ③ 水位関係図

### 1-5)報告書の作成

受注者は、上記設計、設計図面、工事設計書等を整理して、報告書を作成する。

## 2.3 照査

初回照査として業務内容、計画資料等についての妥当性を照査する。中間照査は、各種条件の整合性について照査を行う。終回照査は、成果品が仕様書に適合していることの確認を行う。照査時期は次のとおりとする。

- ① 設計の基本条件を設定した段階
- ② 成果物を仕上げた段階

## 2.4 参考図書

- (1) 水道法及び関係法令
- (2) 水道施設設計指針 最新版
- (3) 水道維持管理指針 最新版
- (4) 水道施設耐震工法指針・解説 最新版（日本水道協会）
- (5) 水道事業実務必携（最新版）（全国化に水道協議会）
- (6) 国土交通省土木工事積算基準（最新版）（土木工事積算研究会）
- (7) コンクリート標準示方書（最新版）（土木学会）
- (8) 設計・測量・調査業務委託関係集（最新版）（長野県土木部）
- (9) 建築工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）最新版
- (10) 電気設備工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）最新版
- (11) その他関必要な図書・基準書

## 第3章 成 果 品

### 3.1 提出図書

成果品は報告書として1冊にまとめて、下記の部数を納品すること。

- (1) 報告書（A4版） 2部
- (2) 打合せ記録 一式
- (3) 電子データ（PDF形式等） 一式（CD等）

製本の仕様や電子データのファイル形式は発注者との協議による。

